

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・やまびこの利用定員は10名です。 ・指導訓練室の広さは37㎡で1人3㎡以上を確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・児童指導員常勤3名、非常勤2名、指導員1名の合計6名で事業運営している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・半年に1度、保護者向けアンケートを実施して意向を把握して業務改善に繋げる努力をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページ・フェイスブック・インスタグラムで公開している。 ・ピースオンで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者機関による外部評価の実施実績が無いので検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・研修機会の情報共有を行い、参加可能な研修(リモート)には積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・半年に1度、アセスメントを実施してニーズや課題を把握し、職員会議で取り上げている。議論した内容をサービス計画に反映させるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎月1ヶ月の活動予定表を作成して子供の希望を踏まえたプログラムになるよう立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・週に一度活動プログラムの実施結果について話し合いを実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・その日の利用者の利用状況に応じた活動と支援が出来る体勢で運営している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用者のその時の状況に適応するような活動内容とサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日、職員出勤時にカンファレンスを行い、支援の内容と活動内容の確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日前日の振り返りの時間を設けて日報の読み上げで気づいた点や報告事項を会議録ノートに記録している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日報を手書きしてファイリングしており、職員が記録を共有して利用者異変や変化に気づけるようにしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・必要に応じて保護者とモニタリングを実施して計画の見直しが必要かどうか話し合いをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・ガイドラインはいつでも閲覧可能で毎月読み合わせを行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・常勤職員が中心となり関係各所と連絡連携を取るようになっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在医療的ケアの必要な児童の利用実績がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・デイサービスから系列就労継続支援A型事業所へ移行した時に事業所で得た情報を提供した。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・困りごとなど相談があった場合は支援センター担当者に連絡を取り情報共有および助言をしてもらっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・自立支援協議会の部会に所属し活動に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・活動記録と送迎時に職員と保護者によるコミュニケーションを図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家庭状況や保護者と子どもの個性に応じて柔軟に提案し支援に結びつけている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・新規契約時に丁寧な説明を行っている。 ・モニタリングと計画変更時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった場合は内容に応じて対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・保護者会の開催は必要と感じているが開催実績がないので開催に向けて検討している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情発生時は関係機関と連携して迅速に対応している。また、記録に残し同じ事が起らないように周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・Instagramを定期的に更新して活動内容を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の保管は鍵のある書庫で管理し、常勤職員1名で管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・災害対策マニュアルを作成している。毎月防災に関する取り組みをしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月避難訓練と災害発生に備えた訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止担当者が積極的に研修へ参加して社内研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・現在食物アレルギー児童の利用実績がない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			